

下松商工会議所 市内中小企業景況感調査結果(2020年4月-6月期)

下松商工会議所

- (1)調査時点 2020年月7月
 (2)調査対象 5業種(製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業)100社
 (3)有効回答企業数47社
 (4)有効回答率47.0%

【1. 業種別景況調査結果】

- ・前年同期比較
- ・DI…[第1選択肢の回答者数構成百分比]-[第3選択肢の回答者数構成百分比]

1. 業況判断DI(「好転」-「悪化」前年同期比)

	2019年4-6月	2019年7-9月	2019年10-12月	2020年1月-3月	2020年4月-6月	前期差	2020年7-9月見通し	今期との差
全産業	▲ 8.4	▲ 12.7	▲ 8.6	▲ 57.4	▲ 51.0	6.4	▲ 68.0	▲ 17.0
中規模	▲ 14.3	▲ 23.1	0.1	▲ 53.6	▲ 52.2	1.4	▲ 69.6	▲ 17.4
小規模	▲ 5.4	▲ 10.0	▲ 11.1	▲ 60.0	▲ 50.0	10.0	▲ 66.6	▲ 16.6
製造業	22.2	7.7	36.5	▲ 40.0	▲ 41.6	▲ 1.6	▲ 50.0	▲ 8.4
建設業	20.0	8.3	24.9	▲ 28.6	▲ 20.0	8.6	▲ 60.0	▲ 40.0
卸売業	▲ 35.3	▲ 30.8	▲ 45.4	▲ 66.7	▲ 66.7	0.0	▲ 77.8	▲ 11.1
小売業	▲ 56.2	▲ 14.3	▲ 36.6	▲ 84.6	▲ 100.0	▲ 15.4	▲ 100.0	0.0
サービス業	5.6	▲ 36.3	▲ 23.1	▲ 50.0	▲ 37.5	12.5	▲ 62.5	▲ 25.0

2. 売上額DI(「増加」-「減少」前年同期比)

	2019年4-6月	2019年7-9月	2019年10-12月	2020年1月-3月	2020年4月-6月	前期差	2020年7-9月見通し	今期との差
全産業	▲ 6.0	0.0	▲ 8.6	▲ 57.4	▲ 55.4	2.0	▲ 63.8	▲ 8.4
製造業	16.6	15.4	27.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 50.0	0.0
建設業	13.3	33.3	33.3	▲ 14.3	▲ 20.0	▲ 5.7	▲ 40.0	▲ 20.0
卸売業	▲ 11.8	▲ 7.7	▲ 45.4	▲ 77.8	▲ 66.7	11.1	▲ 77.8	▲ 11.1
小売業	▲ 43.7	0.0	▲ 27.2	▲ 84.6	▲ 100.0	▲ 15.4	▲ 100.0	0.0
サービス業	▲ 5.6	▲ 45.4	▲ 30.8	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 62.5	▲ 12.5

3. 仕入単価DI(「上昇」-「低下」前年同期比)

	2019年4-6月	2019年7-9月	2019年10-12月	2020年1月-3月	2020年4月-6月	前期差	2020年7-9月見通し	今期との差
全産業	45.2	38.1	46.6	29.8	12.7	▲ 17.1	4.2	▲ 8.5
製造業	38.9	46.2	27.3	60.0	16.7	▲ 43.3	16.7	0.0
建設業	53.3	25.0	41.7	28.6	▲ 10.0	▲ 38.6	▲ 20.0	▲ 10.0
卸売業	41.1	61.5	54.5	22.2	33.3	11.1	11.1	▲ 22.2
小売業	37.5	28.6	63.6	23.1	0.0	▲ 23.1	12.5	12.5
サービス業	55.6	27.3	46.1	12.5	25.0	12.5	0.0	▲ 25.0

4. 採算DI(「好転」-「悪化」前年同期比)

	2019年4-6月	2019年7-9月	2019年10-12月	2020年1月-3月	2020年4月-6月	前期差	2020年7-9月見通し	今期との差
全産業	▲ 10.7	▲ 12.7	▲ 24.4	▲ 55.4	▲ 42.5	12.9	▲ 53.2	▲ 10.7
製造業	11.1	0.0	27.3	▲ 30.0	▲ 25.0	5.0	▲ 41.7	▲ 16.7
建設業	0.0	24.9	▲ 16.7	▲ 28.6	0.0	28.6	▲ 10.0	▲ 10.0
卸売業	▲ 29.4	▲ 38.4	▲ 54.5	▲ 55.5	▲ 77.8	▲ 22.3	▲ 77.8	0.0
小売業	▲ 31.2	▲ 21.4	▲ 36.3	▲ 76.9	▲ 100.0	▲ 23.1	▲ 100.0	0.0
サービス業	▲ 5.6	▲ 27.3	▲ 38.5	▲ 50.0	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 25.0

5. 従業員DI(「増加」-「減少」前年同期比)

	2019年4-6月	2019年7-9月	2019年10-12月	2020年1月-3月	2020年4月-6月	前期差	2020年7-9月見通し	今期との差
全産業	0.0	4.8	3.5	8.5	10.7	2.2	6.4	▲ 4.3
製造業	27.8	23.1	18.2	0.0	16.6	16.6	8.3	▲ 8.3
建設業	6.7	16.6	8.4	42.9	40.0	▲ 2.9	20.0	▲ 20.0
卸売業	▲ 29.4	▲ 15.4	0.0	22.2	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 11.1	0.0
小売業	▲ 6.2	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 12.5	▲ 4.8	▲ 12.5	0.0
サービス業		0.0	▲ 7.7	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0

6. 資金繰りDI(「好転」-「悪化」前年同期比)

	2019年4-6月	2019年7-9月	2019年10-12月	2020年1月-3月	2020年4月-6月	前期差	2020年7-9月見通し	今期との差
全産業	▲ 4.8	▲ 8.0	▲ 8.6	▲ 38.3	▲ 19.2	19.1	▲ 21.3	▲ 2.1
製造業	11.1	7.7	18.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	▲ 6.7	16.7	▲ 16.7	▲ 14.3	0.0	14.3	10.0	10.0
卸売業	▲ 11.8	▲ 23.1	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 11.1	▲ 33.3	11.1
小売業	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 18.2	▲ 76.9	▲ 50.0	26.9	▲ 62.5	▲ 12.5
サービス業	0.0	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 50.0	▲ 12.5	37.5	▲ 37.5	▲ 25.0

【2. 業種別設備投資動向】

(設備投資実施企業割合% (実施企業/回答企業×100))

	2019年4-6月	2019年7-9月	2019年10-12月	2020年1月-3月	2020年4月-6月	前期差	2020年7-9月見通し	今期との差
全産業	31.0	31.7	24.1	27.7	23.4	▲ 4.3	34.0	10.6
製造業	33.3	30.1	33.3	60.0	41.7	▲ 18.3	41.7	0.0
建設業	33.3	25.0	33.3	42.9	10.0	▲ 32.9	40.0	30.0
卸売業	35.3	38.5	0.0	22.2	22.2	0.0	33.3	11.1
小売業	6.3	28.6	18.2	0.0	0.0	0.0	37.5	37.5
サービス業	44.4	36.4	30.8	25.0	37.5	12.5	12.5	▲ 25.0

【3. 経営上の課題】

今期直面している経営上の課題(構成比)				備考
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	
製造業	人件費の増加 熟練技術者の 確保難	需要の停滞 14.3	ニーズの変化へ の対応	
	17.9		在庫の過剰 従業員の確保難	
			10.7	
建設業	従業員の確保難 23.1	ニーズの変化へ の対応 熟練技術者の確 保難 15.4	原価の高騰	
			原材料の不足	
			その他経費の増加 取引条件の悪化 需要の停滞 代金回収の悪化 7.7	
卸売業	需要の停滞 29.2	従業員の確保難 16.7	ニーズの変化へ の対応	
			原材料の不足	
			8.3	
小売業	需要の停滞 38.1	ニーズの変化へ の対応 19	その他	「その他」の内容は全て新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。
			9.5	
サービス業	ニーズの変化 への対応 22.7	設備の老朽化 18.2	人件費の増加	
			その他経費の増加 従業員の確保難 需要の停滞	
			9.1	

【4. 調査企業からのコメント】

- ・コロナウイルスの状況が心配である。
 - ・今後、コロナの影響による景気の悪化により、設備投資が減少すると思われる。
 - ・お持ち帰り、お弁当容器等テイクアウト用の容器はよく動いた。
贈答品の貼箱は、ぼつぼつと注文が入っていますが、例年に比べ数少なくなり、困っています。早く景気もどってほしいです。
- 停滞は衰退を心に、次を新しい技術にチャレンジし対前年30%の増収増益を確保している。
後半も新しい仕事が確定しており、設備投資にて、さらなる増収増益を目論んでいる。
- ・コロナ禍でイベントの中止や外出自粛などで需要が大きく落ち込んでいる。
 - ・業況は悪化する。新型コロナや豪雨災害で企業の設備投資や公共工事も見直しが行われると予想される。
 - ・設備投資が全体的に減っている。
 - ・創業以来初の1ヶ月以上のお休みになりました。コロナ2波の予想がつかず、先行きの不安しかない。
 - ・行事の減少、人の移動の減少(各県をまたぐ)。
 - ・休業要請なしでの県。市の助成金の支給の方法に異和感を感じます。飲食店のみに助成しましたが(5000万円強)、飲食店は仕入をストップすれば、原材料、金銭的なロスはほとんどありません。しかし、そのお店に納品する業者も、すべて影響があります。困っているのは一緒です。なぜ、飲食店のみなんですか？ 広く浅く助成するか、もしくは、税金なので一銭も出さない手段もあったのではありませんか？
 - ・コロナの影響が大きい。
 - ・コロナの発生により関連行事の中止等が悪化の原因。
 - ・新型コロナウイルスによる企業等の宴会の中止等のあおりを受けた。
新薬が開発され十分な量のワクチンが出来るまで難しい。
 - ・人的移動によるアパートの退去物件が少なくなっている。